

ゴローヴニン事件 ロシア海軍士官ムールの獄中上申書 日本在留希望はかなえられたか

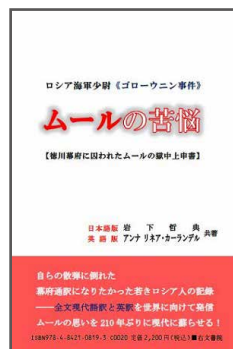
■ 講師: 岩下 哲典

2022年2月26日(土) 14:00~16:00 Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)

参加費無料



「俄羅斯人生捕之圖」より(部分)
【早稲田大学図書館蔵】
右から3人目がムール



岩下哲典/アンナ リネア・カーランドル
『ロシア海軍少尉「ゴローヴニン事件」
ムールの苦悩』
(右文書院、2021年)

1811年国後で捕縛されたゴローヴニン一行のナンバー2ムールは、日本在留を希望する上申書を提出した。残念ながらロシア語原文は確認されていない。

昨年、上申書の江戸時代日本語を現代語訳して英訳した本を出版した報告者が、上申書の中身とムールのその後、また日本史上の影響などを追う。

■ 岩下 哲典 (いわした てつり) 日本海事史学会会員

1962年長野県塩尻市「たのめの里」生まれ。1994年青山学院大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程満期退学。

2001年博士(歴史学)。明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授をへて現在東洋大学文学部教授。

主な編・著書:『江戸無血開城』『解説「金海奇観」と19世紀の日本』『東アジアのボーダーを考える』『高邁なる幕臣 高橋泥舟』

『日本のインテリジェンス』『江戸時代来日外国人人名辞典』『江戸將軍が見た地球』『龍馬の世界認識』『幕末日本の情報活動』

『江戸の海外情報ネットワーク』『予告されていたペリー来航と幕末情報戦争』『江戸のナポレオン伝説』『近世日本の海外情報』など多数。

● 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。
メールでお申し込みください。

※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には2月23日(水)までにご連絡いたします。

● 会員にはメールでご案内をお送りしています。

メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■ 申込〆切: 2022年2月22日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」
として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 2022年2月26日(土)・3月26日(土)・4月23日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文科学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回)／総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

